

授業評価アンケート結果(2011 春)

担当者：杉本憲彦

科目名：物理学 I(実験を含む)「地球と環境の物理」

実施時期：春学期最終講義日

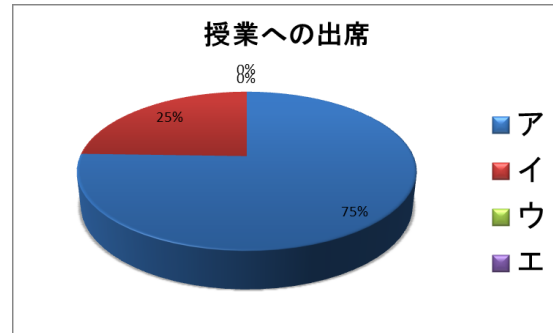
科目設置：日吉

履修者数：168 名

回収数：151 名

1. 授業への出席

ア	全部出席した	114 人
イ	ほとんど出席した(80%程度)	37 人
ウ	あまり出席しなかった(50%程度)	0 人
エ	ほとんど出席しなかった	0 人



2. 授業について

A=そう思う

B=どちらかといえばそう思う

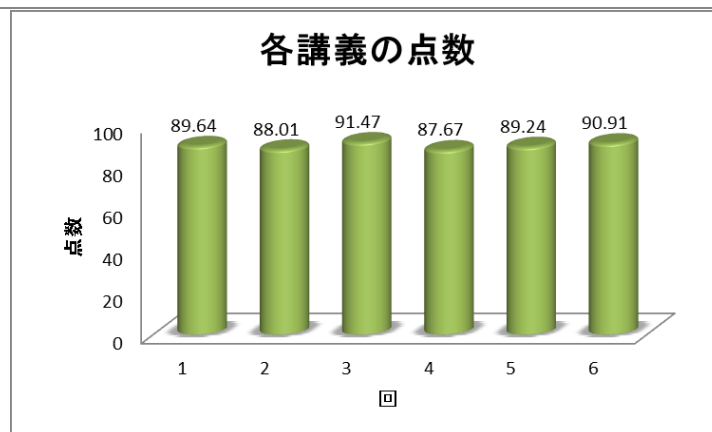
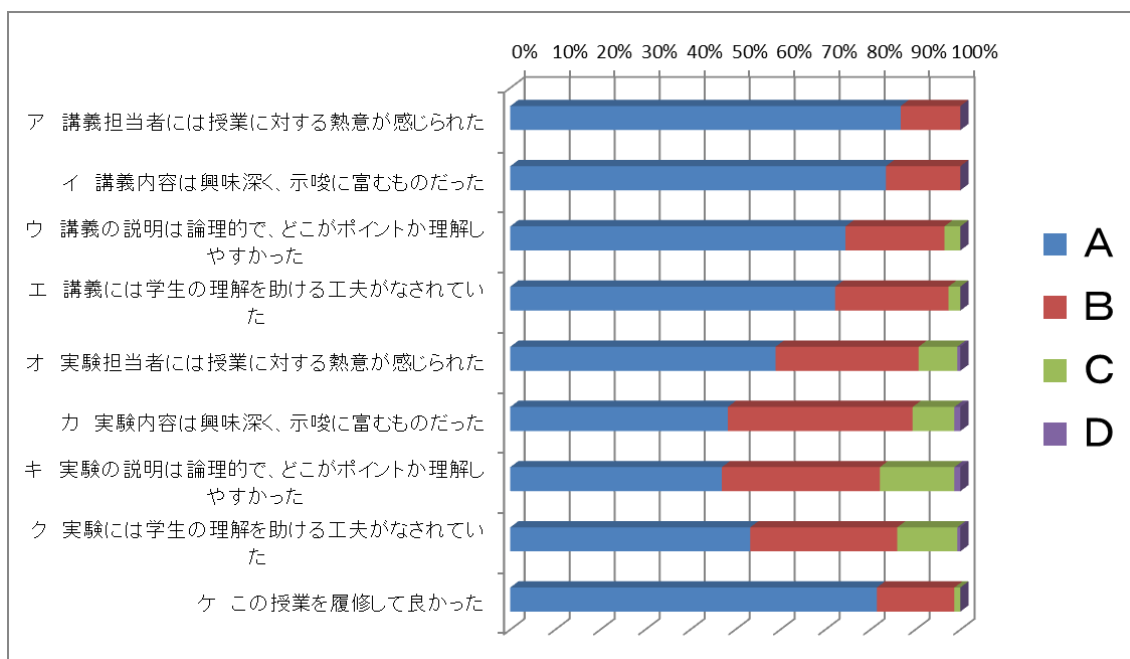
C=どちらかといえばそう思わない

D=そう思わない

	A	B	C	D
ア 講義担当者には授業に対する熱意が感じられた	131	20	0	0
イ 講義内容は興味深く、示唆に富むものだった	126	25	0	0
ウ 講義の説明は論理的で、どこがポイントか理解しやすかった	105	31	5	0
エ 講義には学生の理解を助ける工夫がなされていた	109	38	4	0
オ 実験担当者には授業に対する熱意が感じられた	89	48	13	1
カ 実験内容は興味深く、示唆に富むものだった	73	62	14	2
キ 実験の説明は論理的で、どこがポイントか理解しやすかった	71	53	25	2
ク 実験には学生の理解を助ける工夫がなされていた	80	49	20	1
ケ この授業を履修して良かった	123	26	2	0

3. 各回の講義内容について(100 点満点)

講義内容	平均点	人数
第 1 回「宇宙と地球」 - 私たちの住む地球とは -	89.6	145
第 2 回「大気の大気」 - 日々の天気から地球温暖化まで -	88.0	140
第 3 回「海の不思議」 - 海洋大循環と波のしくみ -	91.5	43(月休)
第 4 回「地球の内部と磁気圏」 - オーロラと地磁気の反転 -	87.7	142
第 5 回「移動する大陸」 - グローバルテクトニクスと地震・火山 -	89.2	141
第 6 回「地球の未来」 - エネルギー問題と持続的な社会 -	90.9	132



4. 自由記述(代表的なもの)

- 内容が身近で興味深く、学際的だった(14人)
- 面白かった(9人)、説明がよかった(5人)、楽しかった(4人)、後期が楽しみ(2人)
- パワーポイント(動画・画像)を使った講義がわかりやすかった(7人)、熱意が伝わった
- 海の回が聞きたかった(3人)、文系向き(2人)、keio.jp にスライドがあるのは親切
- 実験が難しい(6人)、実験の理論が難しい(2人)、実験と講義の関連性が欲しい
- 小テストが難しい(3人)、時間が足りない(2人) ⇔ 休憩 2回はうれしい

5. 講評

昨年度に引き続き、テーマ選びや授業の構成(スライドや動画)、説明については、概ね好評であった。今回は講義と実験で設問を分けたが、講義と実験の満足度の差が顕著に見えている。新たな実験の開発、内容の改善、説明の徹底は今後の課題である。本講義を通じて、自然科学に対する教養を深めて、地球の現象にさらなる興味を持っていただければと思う。